

(明治38年7月17日) 皆川正嬢より

郵便はかき



子姪亦也也  
夏月金之助様

夏月金之助様

正嬢



此の表面には宿所姓名を限り認むべし

宛名人の宿所は宛名よりも大書すべし

(明治38年7月17日) 皆川正嬬より

先日の高島夜もより及路のるも復料きうとて七  
 円送じりたきん大十まむりや中か下さつ丸  
 もめ取せたりとおす、た教方は大層よくまつて  
 厚し、うをしくた、今日カ野天と河つして  
 山の向心とせたりと泡り丸カ理を人は地入り  
 出子根るまも成ましく丸ん、明日は少なり  
 と共の事知度心とるなり、た、ま我はま、  
 たり、日をくつて、愛もまがわゆり少なり

七月十七日 正